

平成25年度 地域活性化総合特別区域評価

「ふじのくに先端医療総合特区」 全国第1位に

2014年12月3日

静岡県経済産業部新産業集積課
静岡県立静岡がんセンター
公益財団法人 静岡県産業振興財団 ファルマバレーセンター

ふじのくに先端医療総合特区（地域活性化総合特別区域）は、総合特別区域評価・調査検討会において、目標を上回る医療関連製品の開発実績や、医療機器開発等のための国の支援措置の活用、沼津高専が行う医療機器開発人材養成講座（F-met）やファルマバレープロジェクト新拠点施設の整備などの地域独自の取組などについて高く評価され、平成24年度と同様、「A評価、点数5.0」という総合評価を受けました。（本日、内閣官房地域活性化統合事務局HPで公表）

この評価結果は、最高得点で全国第1位となりました。分野別にみた評価結果は、ライフ・イノベーション分野（全国で12地域）においてA評価の地域は3地域であり、5点満点は当特区のみとなっています。

【評価概要】

1 評価結果

総合評価： A（点数5.0）（評価の判定は、A～Eの5段階評価、点数は最高5.0）

2 評価における主な専門家所見

- ・当初目標を上回る成果が上がっており、方向性及び進捗状況は適切である。
- ・地域企業による産業クラスターが形成され、地域企業の活性化や雇用創出という特区ならではのプロジェクトを着実に進めている。
- ・人材育成を含め、地域が一体となって特区への取組がなされている点が高く評価できる。

【今後の取組】

- ・今後も、特区に対する国からの支援等を活用するとともに、地域の産・学・官・金が一体となってファルマバレープロジェクトの更なる推進を図り、医療健康産業の集積と振興を進めていく。
- ・ファルマバレーセンターの地域連携コーディネータ（7人）を中心として、産学官金連携による研究成果の事業化、医療現場のニーズ収集、マッチング等を推進し、地域企業による製品開発・国内外への販路拡大や、医療分野への新規参入支援等を行う。
- ・現在、長泉高校跡地に整備を進めているファルマバレープロジェクトの新拠点施設の活用や、ファルマバレープロジェクト第3次戦略計画（H23～H32）の見直し作業を進め、基本理念である「世界一の健康長寿県の形成」に向けて引き続き努めていく。

プレスリリース

【参考事項】

(1) 地域活性化総合特区に指定されている全地域の評価結果

総合評価判定	A	B	C	D	E	合計
地域数(準評価区域)	13(2)	19(2)	14(5)	2(0)	0(0)	48(9)

※評価対象地域数は37地域であるが、分野ごとに評価を受けるため合計が一致しない

※評価の詳細は以下のアドレスから参照してください。

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/sogotoc/jigo_hyouka/h25_kekka.html

《参考：評価判定（5段階）の基準》

A	B	C	D	E
4.5以上	3.5以上4.4以下	2.5以上3.4以下	1.5以上2.4以下	1.4以下

(2) ふじのくに先端医療総合特区の評価指標・数値目標

		当初 (H23)	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
評価指標(1) がん診断装置・ 診断薬の開発	数値目標(1) 新たに4件(累計)	目標値	1	0	0	3
		実績値	1	0		
	寄与度(※) :	進捗度(%)	100%			
評価指標(2) その他医療関連 製品の開発	数値目標(2) 新たに10件(累計)	目標値	2	2	3	3
		実績値	6	7		
	寄与度(※) :	進捗度(%)	300%	350%		
評価指標(3) 医療機器生産 金額(県内)	数値目標(3) 1,956億円→4,000億円 (薬事工業生産動態統計)	目標値	2,693億円	3,282億円	4,000億円	4,000億円
		実績値	3,449億円	3,652億円	3,735億円	
	寄与度(※) :	進捗度(%)	136%	114%		

※薬事工業生産動態統計の25年実績値は、同統計の月報の和(25年1月~12月)である。

(3) 平成25年度に発売された主な商品

商品名等	研究・開発主体	製品概要
デオドラント“ケア”シリーズ	(株)トライ・カンパニー(沼津市)、 静岡がんセンター	がん特有のにおい(病臭)を九割以上カットするシートなど3種類
TAIRA鉗子ローラー	平電機(株)(長泉町)、沼津高専、 静岡医療センター	手術後の患者さんの体液がチューブに滞るのを防ぐ作業を省力化

(4) 特区に対する国の金融支援措置

事業名	総合特区支援利子補給金
内容	総合特区の区域内で医療関連の研究開発や設備投資を行う事業者が、国の指定金融機関(10機関)から融資を受けた場合、5年間金利が最大0.7%軽減。
状況	H25: 3件 108,000千円、H24からの合計: 17件 593,490千円(融資実行額)

プレスリリース

(5) 特区に対する国の財政支援措置

事業名	経済産業省「課題解決型医療機器等開発支援事業」
内容	地域企業、医療機関や大学等研究機関が連携して実施する医療機器等の研究開発費を支援。
状況	H25：6テーマ（約400,000千円）について、地域企業や大学、病院等と連携して医療現場の課題を解決するための機器開発等を実施。H23からの合計：約9億円

(6) ファルマバレーセンターによる起業、二次創業の支援

これまでにファルマバレーセンターが関与して新たに医療機器製造業・製造販売業の許可を取得した企業は32社にのぼる。（平成26年9月末現在）

(7) 富士山麓医用機器開発エンジニア養成プログラム（F-met）

沼津工業高等専門学校が実施している医療機器開発をリードする中核人材養成プログラム。

当特区からの提案により、厚生労働省が「医療機器に係る責任者資格要件」の緩和措置を実施し、F-metが全国で初めて認定講習となった（H25年9月18日）。これにより従来必要であった3年間の従事経験が当講座の受講により不要となり、地域への迅速な資格者の輩出が可能となった。

これまでに37人が修了し、現在は第5期生（6人）、第6期生（14人）が受講中。

(8) ファルマバレープロジェクト新拠点施設について

静岡県は、静岡がんセンターに隣接する長泉高校跡地に、地域企業の医療分野への参入や研究開発支援、医療関係人材の育成、企業間の連携・交流を図る機能を集約した新拠点施設を整備している。

1) 新拠点施設の整備概要（敷地面積約43,000㎡、延床面積約17,000㎡）

(ア) プロジェクト支援・研究ゾーン

ファルマバレーセンターの事務所や小規模レンタルラボ・レンタル事務所用スペース

(イ) リーディングパートナーゾーン（約7,300㎡）

地域企業の支援に協力する大企業などが研究・開発・生産に活用するスペース

※テルモ(株)MEセンターが入居予定

(ウ) 地域企業開発生産ゾーン（約1,500㎡）

地域中小企業の事業拡大に向けて、開発生産に活用するスペース

※東海部品工業(株)が入居予定

2) プロジェクト支援・研究ゾーンの概要

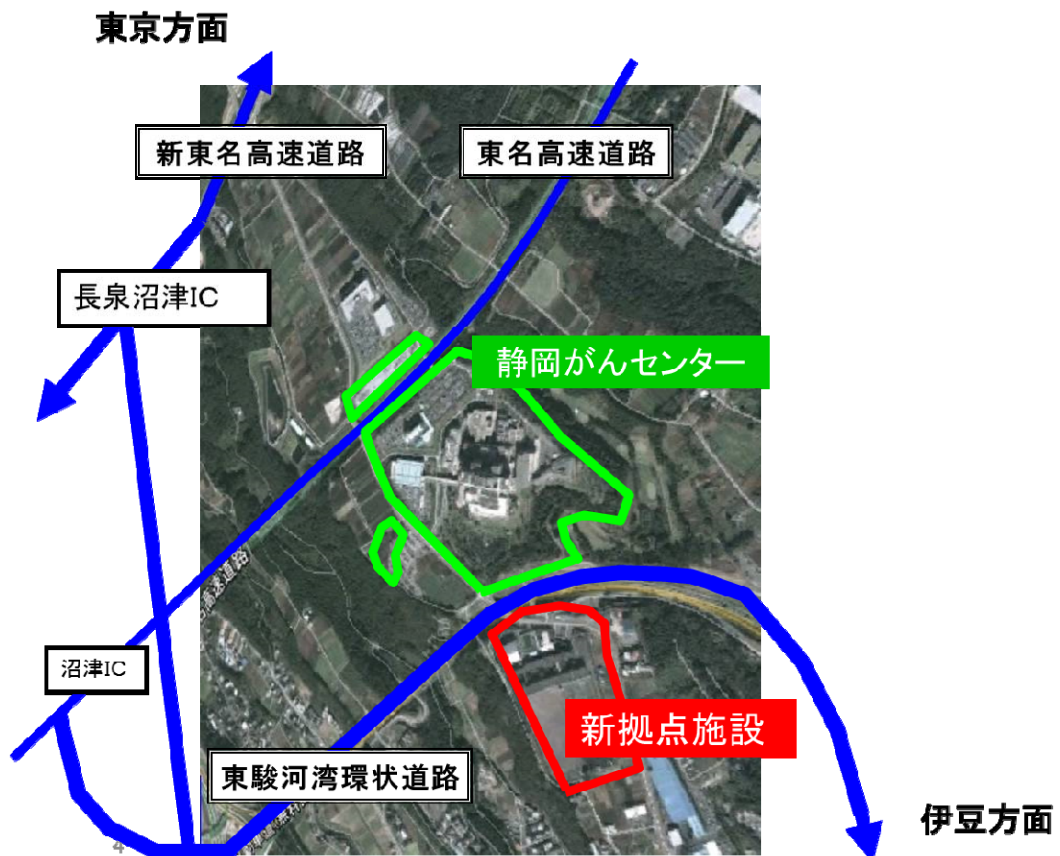
施設区分	概要
ファルマバレーセンター事務所	ファルマバレーセンター事務所を静岡がんセンターから移転
レンタルラボ（研究室・実験室）	研究室 約57㎡・12室 実験室 約57㎡・4室、約90㎡・1室

プレスリリース

レンタルオフィス	約32㎡・6室
支援スペース（共用）	試作室、常設展示場、貸会議室など
リフレッシュスペース	食堂、休憩室など

※施設区分の面積等、詳細は現時点の予定です。

- 3) 新拠点施設の場所：静岡がんセンターに隣接する長泉高校跡地



新東名・長泉沼津ICまたは東名・沼津ICから駿河湾環状道路を介して約7分

- (9) 他の地域の状況（ライフ・イノベーション分野でA評価の2地域）

名称	地域	評価	点数
さがみロボット産業特区	神奈川県	A	4.9点
健幸長寿社会を創造するスマートウェルネスシティ 総合特区	新潟県見附市等	A	4.6点

※本件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

静岡県経済産業部 新産業集積課 tel:054-221-2985 e-mail:trc@pref.shizuoka.lg.jp